

最優秀賞

松川南保育園



建設地：北安曇郡松川村
5651-152他
構造・規模：鉄骨造平屋建て、
延べ1559.26㎡
工事期間：平成22年8月～
平成23年2月



子どもたちが自由に園内を駆け回り、遊びの中から自然とのふれあい、温もりのある園舎で心身ともに健やかに成長していくことのできる場をイメージし、この保育園を設計しました。ここでは、子どもたちが主役であり、自由に元気な活動を引き立たせるよう、建築はあくまでシンプルなつくりとしました。

この園舎は、ほぼ1年を通して北西から吹く爽やかな風が室内を吹き抜けます。また、保育室は全て南向きとし、南の陽光はテラスの屋根となるポリカーボネイト板を通して柔らかな光が差し込みます。保育室北側にはトップサイドライトを設け、落ち着いた光を取り入れることにより、昼間は照明器具を使わず活動できる園舎としました。

内装には県産のからまつ材やひのき板を使用し、やわらかく温もりのある仕上げとしました。また、温水式の床暖房や太陽光発電、外張り断熱、木製サッシと複層ガラスの採用により断熱性能を高め、ランニングコストと環境負荷を低減した、人と環境にやさしい建築としています。

■設計



代表取締役 児野 登

〒390-0852 松本市島立1132-25 TEL 0263-47-7766
http://www.archideach.com/ FAX 0263-47-0462

■施工



代表取締役 相模 一男

〒398-8686 大町市大町3052 TEL 0261-22-1800
http://www.sagamigumi.co.jp/ FAX 0261-22-8126

最優秀賞

安藤法律事務所「大屋根のオフィス」



建設地：松本市蟻ヶ崎1-3-7
構造・規模：木造2階建て、延べ271.86㎡
工事期間：平成21年9月～平成22年4月



敷地は事務所や住宅が混在する地域であるため事務所機能に大屋根を架け住宅のスケールに近づけた。法律事務所という用途からプライバシーが求められる格子や木製の扉で守り、中庭や足元の植栽で圧迫感を与えぬようにしている。

極力高さを抑え、外壁は素朴な土壁風に仕上げ、周辺環境に馴染むよう心がけた。

木造で大きな空間を確保する

ため登り梁構造とし水平構面は針葉樹合板で固めている。棟梁を支える檜の7寸角通し柱はオープンな執務室の2階床を力強く支えながら個人領域をつくっている。内部は塗壁と無垢材を使用し心温まる空間を目指した。断熱はグラスウールの外張り付加断熱で次世代省エネ基準4等級である。

オール電化で暖房は換気熱ヒートポンプ暖房システムを採用、24時間換気の排出空気から熱を回収しヒートポンプの熱源として利用している。冷房は床下の冷たい空気を利用し同じく冷水を作りパネルヒーターを冷やしている。エネルギーを効率よく使うオフィスとなった。

■設計



代表 藤松 幹雄

〒390-0876 長野県松本市開智1-5-13 TEL 0263-33-5421
http://www.f-a.jp FAX 0263-33-5425

■施工



代表取締役社長 滝澤 文雄

〒390-1131 松本市今井松本道7155-74 TEL 0263-57-2196
http://www.mcci.or.jp/www/takizawa-so/ FAX 0263-86-6124

優秀賞

五角筒の家



建設地：北佐久郡御代田町塩野
構造・規模：W造
2階建て、延べ
175.97㎡

工事期間：平成21年11月17日～
平成22年4月23日

施主は、現在東京都内で活動する版画家と、神戸で生活する娘夫婦。晩年は自然に囲まれたこの地で版画の創作に打ち込みたい父と、年に数回のアウトドアを楽しみたい娘夫妻一家のセカンドハウスとしての計画が始まった。

年に何回かこの場で老夫婦、若夫婦+子ども3人の7人でのセカンドライフを楽しみにしている版画家のおじいちゃんと孫たち。自然の中に春夏秋冬の季節の変化を感じながら時が経過する。

人と人の暮らしの中から生命を蘇らせ、自然とのふれあいから心を豊かにする。自然が内部空間を通過するよう、2階は東西を五角形のシリンダーにより、光を通過させ、上下は風が通り抜けるよう全面開放の引き込み戸により風が通過する仕組みを施した。外部に目を向けると、風に揺れる木の葉に太陽光が当たり、その陰影が季節感を伝える。

四季の暮らしの中に森の光を通過させ、吊構造により片持ちとして、浮遊感のある五角筒の家として計画した。

■設計



甘利 享一 建築設計舎

AMARI・ARCHITECT・ASSOCIATES

主宰 甘利 享一 小諸市平原1680 TEL 0267-23-3225 FAX 0267-25-0066

平成24年度 建築作品賞 受賞作品紹介

総評

平成24年度建築作品選考委員長 柳澤 孝彦

作品選考委員会は土本、川船、柳澤3人の委員により平成24年4月8日(日)午前10時より午後3時にかけて新井会長、池田副会長、塩崎常任理事の立ち会いのもと行われた。選考は審査基準に基づき慎重審議を重ねた結果、最優秀賞2点、優秀賞1点を選出することができた。応募作品数は6点で、住居3点、保育園2点、事務所1点と低調、全国最終審査に向けた多くの応募を期待してやまない。

最優秀賞に選ばれた「安藤法律事務所」および「松川南保育園」は完成度の高い秀作で、終始選考委員会の推選を維持したものであった。いずれも地域の環境に深く根ざしながら確かな機能展開と構成員によつて空間に豊かさをつくり込んで美事である。

優秀賞の「五角筒の家」も注目を集めた佳作であり、人と自然環境の親和的関係性を美事にデザインしている。

東日本大震災後、到底癒えることを知らない今、風土1000年、風景1000年、景観10年という言葉が胸に響く。

この度の応募作品に注がれた設計者の英知に敬意を払うと共に、貴重な建設の機会を与えていただいた建築主各位に心より感謝の意をあらわし、一般社団法人長野県建築士事務所協会の発展と会員の益々のご活躍を祈念し総評とする。

建築作品選考委員会

委員長	柳澤 孝彦 (株)柳澤孝彦+TAK建築 研究所代表取締役)
委員	土本 俊和 (信州大学工学部教授)
	川船 昌子 (株)アキツ代表)